

健康管理システム等標準化検討会ベンダ分科会個別検討ワーキングチーム

議事概要

日時 : 令和4年2月17日(木) 13:30~15:00

場所 : WEB会議及び日本コンピューター株式会社りそな新橋ビル6F会議室

【議事次第】

1. 開会
2. 議事
 - (1) WT 構成員について
 - (2) 予診票のデジタル化について
 - (3) 予診票のデジタル化運用フロー
 - (4) その他
3. 閉会

【配布資料】

資料1_WT名簿

資料2_予診票のデジタル化について

資料3_予診票のデジタル化運用フロー

○議事概要

(議事(1)について)

事務局からWT構成員について説明が行われた。

(議事(2)について)

厚生労働省予防接種室から予診票のデジタル化について説明が行われた。

<質疑応答>

- ・(構成員) 将来の運用フロー②接種勧奨について、現在の運用では母子手帳交付時など事前に予診票を配っており未接種の対象者に接種勧奨を行っている。フローでは接種開始前に勧奨しているように伺える。新たに接種開始前の接種勧奨を行うこととなるか。

⇒(厚生労働省) 新たな運用は必要なく、現在行っている接種勧奨で問題ない。

- ・(構成員) 将来の運用フロー⑧医療機関からVRSへの入力について、新型コロナ予防接種においてVRSへの入力誤りが多い状況である。そのため、自治体では紙の予診票とVRSの登録内容をチェックしている。定期予防接種の予診票デジタル化に際し

て対策が検討されるか。

⇒（厚生労働省）入力誤りが発生する原因については詳細に把握できていないが、対策について検討事項とする。

（議事（3）について）

事務局からデジタル化運用フローについて説明が行われた。

健康管理標準仕様書としての扱いは、資料3の内容で次回親会へ提案するとの説明が行われ、構成員からの合意が得られた。

＜質疑応答＞

・（構成員）医療機関が接種記録をVRSへ登録後、予防接種台帳システムへ連携し、予防接種台帳システムから中間サーバへ副本登録する流れについて、VRSでは副本登録に必要な情報を保持しているため、VRSから副本登録することは考えられるか。

⇒（事務局）予防接種の正本は自治体が管理する予防接種台帳システムである。副本登録の実施主体が自治体であるため、予防接種台帳システムから中間サーバへ副本登録することとなる。

・（構成員）予診票デジタル化後の運用フローにおいて、母子手帳へ接種記録の記入については、どのような運用になるか。

⇒（厚生労働省）現時点では確定していないため、今後の検討事項とする。

⇒（構成員）転入時に母子手帳で接種記録を確認しているため、検討いただきたい。

（議事（4）について）

その他の事項について確認がされた。

＜質疑応答＞

・（構成員）新型コロナ予防接種で使用しているタブレットは国で調達されていたが、乳幼児の定期接種で使用するタブレットの調達はどのようなになるか。

⇒（事務局）現状は国が調達することを仮定して運用フローを作成している。

・（構成員）特定健診が標準化対象事業となるか検討中であったが進展があったか。

⇒（事務局）総務課様から次回の親会において情報提示予定と聞いている。

以 上